

## 5. 豪雨災害に対する防災力の強化について

豪雨災害により、被災した岡山県倉敷市真備町への医療ボランティアで、住民の皆さんと話をするなか、**集団避難を実施することが重要**であると実感。

タイムラインの作成時に集団避難の体制を構築すべき。

【防災・危機管理部長】

「逃げ遅れ」がないように、地域の住民同士で集団避難することは大変有効であるとする。

**自主防災組織の結成、リーダー研修会等を通して防災力の強化に努める。**



真備町にて 8月28日  
…自転車で水囊を乗せて訪問活動

## 6. コメの生産振興について

筑西市は県内第一位の作付面積を誇る米どころ。しかし、

- ①国内の主食米の農業者の経営は不安定。
- ②個別所得制度の廃止
- ③イネ縞葉枯病の増殖等により

地元のコメの農業者の経営は不安定。県としての支援が重要。

【農林水産部長】

- 米の①生産コストの削減 ②契約栽培
- ③輸出 ④イネの縞葉枯病の対策等により生産振興を図る。



## 土木企業委員会

### 筑西つくば線バイパスの進捗状況について ～第3回定例議会会期中 9/14～

筑西市の旧明野町の皆さんは、**筑西つくば線バイパスの早期開通を望んでいます**が、現在の進捗状況を教えてください。

【道路建設課長】

現在は道路の設計を行っており、今年度中には測量が終了予定。スムーズに用地の買収ができると早期の予算措置が可能である。そのため市町村との連携が重要。



### 人に優しい歩道づくりについて～牛久市へ出前 10/5～

9月22日に認知症マラソン(RUNTOMO)に、甥を乗せてベビーカーを押し、娘と妹と参加。県道の歩道を走った時、つまずき何度も転びそうになった。**誰も安心して歩いたり走ったりできる歩道が必要。**

【道路整備課長】

**人に優しい歩道づくり、バリアフリーの視点は重要**ですので、限られた予算ではありますが、しっかり取り組む。



## 実現! 速度30キロの規制スタート

二木成の通学道路には、多くの住宅が建設され、自動車等の交通量が増加し危険。

そこで、『**速度30キロ規制**』の要望を自治会の皆様と共に筑西警察署に要望し、実現しました。



## えみちゃんの直撃レポート!



### 【真壁准看護学院の戴帽式に 来賓として出席】

地域医療を担う准看護師の卵の皆さんが**ナイチンゲールの炎**を灯し、**患者さんに接する時の思いやりの気持ちを誓った。**

茨城県には5つの准看護学院。近年准看護学院を廃止して、看護師のみの養成にするべきという議論がある。

**私は准看護師の制度は残した方が良く考える。**理由は 中卒でも入学が可能であり、2年で働きながら資格が取得でき、立派に地域医療を担う、大きな力になっている。



戴帽式の様子 10/3

## 予防接種の再接種費用助成について ～予算特別委員会～

### ー ママからの声 ー

**「うちの子が白血病で、予防接種の再接種が必要に。次の世代の子どもたちのためにも費用負担を県や市でお願いできないでしょうか。」**

白血病などにより骨髄の移植を行った場合、予防接種で獲得した免疫が消失したり、効果が期待できなくなったとき再接種が必要になる。

**保護者負担を軽減するために、再接種の費用負担を県として制度化すべき。**

【保健福祉部長】

県内市町村では、今年度中に2市(牛久市、笠間市)において助成制度を創設する。県としては助成制度へのハードルがあり、予防接種の研修会等の機会を活用して、市町村に情報提供を図っていく。



小児科医の榎戸久先生と共に  
**「筑西市でも負担ができるようにしたいですね！」**